

いずれにせよ、この選挙は長い間アメリカの政治を特徴づけてきた「灰色の濃淡」とは対照的に、再び両極化したものになる。重要法案の制定成功のために対立側にも手を伸ばそうとする意欲は消え、今年の議会選挙で、下院が

ナヒゲーター

分裂する可能性が高いので、なおさら重要である。レーガンやジョージ・H・ブッシュが強力な国際安全保障の信任を得て、米国経済を安定させ、創造力を発揮し、同盟国、特にフランスの支援を得て、数

年で冷戦の主導権を取り戻すことができた時代も、クリン

日本への期待

世界各地から

(編集・執筆 リーム中産連)

其 108

未来と変化を期待して

トン時代の楽観主義が支配し、自由世界がバックス・アメリカーナを謳歌(おうか)した時代も終わった。

このような観点からすれば、この選挙での選択はあまり魅力的でない。ほぼ「不適切」か「もつと不適切」かのどちらかである。もちろん不適切かもつと不適切かを決めるのは、私たち一人一人であり、それぞれの見解に基づいている。次の大統領選挙は、多分イデオロギー的にそれほど硬直はせずに、新世代の代

米国大統領選(5)

表間で、より質の高い選挙が行われるだろう、と考える人もいる。だが、自由世界はそんな悠長なことを言っていない。この選挙で、これは依然、重要な回答が得られていない問題である。(スイス ルジエロ・ウイズレル)

選択は簡単だ(仮、米国ハワイから)

11月4日の米国大統領選挙で誰に投票するかと聞かれたが、私自身は未来と変化を期待してもう投票した。他のアメリカ人が私と同意見である

ことを祈りたい。

ハリス候補については、バイデン大統領が撤退を決めた2カ月前に大統領選に参戦したばかりで、よく知られていない。しかし78歳のトランプ候補については多くのことが分かっている。

2020年の前回選挙で、バイデンに300万票以上の差と多くの選挙人票の差で敗れた。大統領在任中には2度弾劾された。1月6日の首都暴動による政府転覆未遂事件を助長した。当選すれば、暴

動に關与した有罪判決を受けた犯罪者を恩赦するようだ。前回大統領選の敗北を否定し、選挙は不正操作されたと言張し続けている。

富裕層の減税と中間層への課税に賛成している。だが元閣僚や共和党の仲間たちから支持されていない。ペンス前副大統領は暴動では標的となり、トランプを支持しない。何人かの元補佐官、統合参謀本部長は別候補に投票するとしている。NATOを否定し、弱体化させることで孤立主義者とみなされている。同盟国との多くは自立を迫られた。ウラジミール・プーチン、金正恩、習近平や他国の独裁者と

同時に、ニューヨーク州で有罪判決を受けた重罪犯である。陪審員は32の訴因で有罪判決を下し、選挙後に判決が下される予定だ。レイプの民事裁判で有罪を宣告され、何

度も侮辱罪で有罪を宣告された。ジョージア・ニューヨーク州、そして米司法省が選挙詐欺と機密情報盗で告発している事件で、係争中だ。詐欺などの犯罪行為でトランプを相手取った訴訟もいくつかある。大統領選出馬は、刑務所に入るのを避け、当選後、係争事件を却下しようとしていると感じている人が多い。【フライアン・モリキ、リーム中産連】

(月曜日に掲載)